

リーディングDXスクール事業【実践事例】

習志野市立第一中学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】『デジタルとリアルの最適な融合』を研究主題とした公開研究会の実施

【研究方法】『デジタルとリアルの最適な融合』

1. 日常の授業実践においてICT機器を活用する。
2. 校内研修を通して、ICT機器の活用の仕方、アプリの共有実践を通して、情報のアップデートをするとともに日常的な授業実践を振り返る。
3. 研究授業等を通して、発問の仕方や板書の仕方について吟味実践する。



各教科における意見共有アプリ等を活用した、
『個別最適な学び』・『協働的な学び』の一体的な充実の促進

【校内研修】

- ・千葉大学の先生に全体講師を依頼し研究を進める。
- ・千葉大学教育学部附属中学校の先生方から指導・助言をいただきながら研究を進める。

【教科部会】

- ・導入ー展開ーまとめ各場面ごとに、目的に応じて使い分けるICT機器の活用の工夫を進める。
- ・日々の授業でのICT機器活用の充実を図る。

【公開研究会(全教科)の実施】

- 市内、県内、県外の方々と、『デジタルとリアルの最適な融合』について意見交換を行うことで、新たな課題も見つかり研究が深まった。
- 教員、生徒ともにICT機器を有効に活用することで、指導及び学びの充実につながった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

習志野市立第一中学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 共有アプリ等を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

- ◎学習課題に対する予想やまとめ・考察において、共有アプリ等を活用する。
- ⇒多くの生徒の予想を共有することで、思考力が高まった。
- ⇒まとめや考察等を共有することで、仲間から学び、思考力や学習意欲の向上にも繋がった。

4 班予想	です			
	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
生物名	サケ、ワニ、ヘビ、タイ、サメ、ベタ、ヤモリ	イヌ、コウモリ、ヒト	ハト、アヒル、ペンギン	サンショウウオ、イモリ
どんなグループか	ウロコで覆われている	体毛で覆われている	羽毛で覆われている	粘液で覆われている
備考	何に覆われているかで分けました			

めめて
スチールウールは燃焼すると電子天秤が示す値は大きくなる。炭素は燃焼すると電子天秤が示す値が小さくなる。炭酸水素ナトリウムと塩酸を混ぜると、気体が発生する化学変化がおきて、電子天秤が示す値が小さくなった。

その理由を、原子や分子に注目して説明せ

スチールウールを燃焼させると、空気中の酸素が物質に結び付き酸化鉄に変化した。この時気体は発生していない。
木炭の燃焼は二酸化炭素が発生し気体になるので、質量として計れなくなったため、気体になった分子の分の質量が減った。それと同時に炭酸水素ナトリウムと塩酸を混ぜると二酸化炭素が発生し、質量が減った。

結果

2年4組 3 班

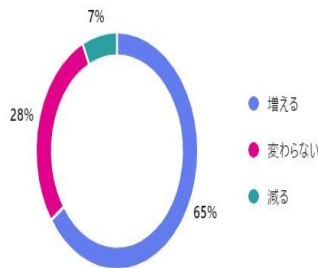
石灰水の色	白く濁り、その後透明に戻った
加熱後、残った物質は何色か？	赤褐色

考察

酸化銅と炭素を加熱すると、石灰水が白く濁ったことから酸化銅の中の酸素原子と炭素が結びついて二酸化炭素が発生したと考えられる。また、残った物質は磨くと光沢がみられたので金属（銅）だと考えられる。



4. 金属（鉄）と酸素が結びつく質量はどうなるのか？



5. 理由

43 応答

〇 更新

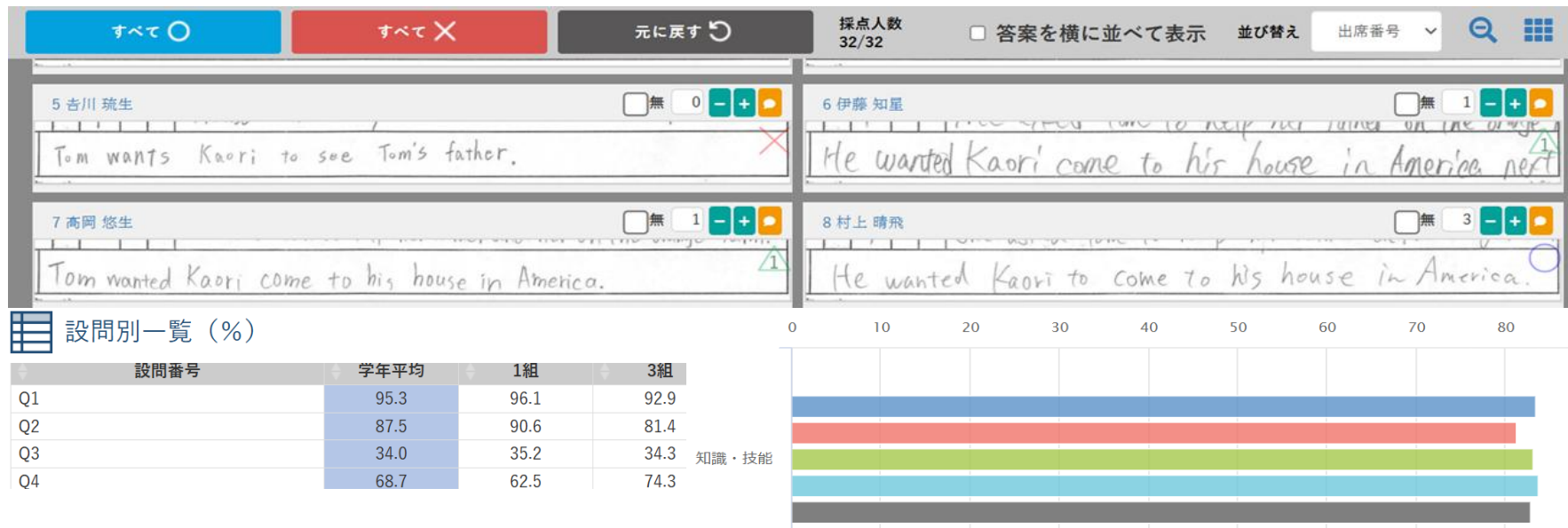
鉄と酸素にはそれぞれ質量があるため結びつく質量は増える
酸素分の質量が増えると思う
酸素分の質量が増える
結びついた酸素の質量も加算されるから
くっついているから
原子の量が増えそうだから
化学式がFeOだから
原子の量がHUEKUKARA
結びついた酸素の重さも増えるから
金属の質量に酸素分の質量が増えるから
できたサビの分ですこしだけ増える

リーディングDXスクール事業【実践事例】

習志野市立第一中学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 デジタル採点システム導入による職員の働き方改革の推進

◎教員自作テストの解答用紙をスキャンして取り込むことで、同じ設問の解答が一覧で表示され、クリックするだけで一括で採点が可能となる。



- ◎採点時間が大幅に削減できる。（これまでの半分以上の時間で採点が終了）
- ◎生徒の学習履歴のデータの蓄積・可視化できる。
- ◎生徒の理解度が一目でわかり、テスト後の指導にも有効活用できる。



R5年度より導入：約6割の教員が活用 → R6年度：約9割の教員が活用